



# 西を豊かに

2022年  
3月20日発行  
第38号

発行者 新潟市西区自治協議会 会長 大谷 一男

事務局 〒950-2097新潟市西区寺尾東3丁目14番41号 西区地域課内  
TEL: 025-264-7161 FAX: 025-269-1650  
メール: chiiki.w@city.niigata.lg.jp



西区の宝物をたくさん詰め込んだロゴマークです。新潟すいか、赤塚大根、くろさき茶豆、佐潟の白鳥。その上に日本海に沈む夕日と大学を表す博士帽をのせました。

## 西区の目指す未来を考える

### 西区区ビジョン基本方針に意見を反映

#### 西区区ビジョン基本方針とは？

西区区ビジョン基本方針は、西区におけるまちづくりの基本的な方針を示すもので、市の最上位計画である「にいがた未来ビジョン(新潟市総合計画)」の一部として位置づけられています。

現在の「にいがた未来ビジョン」や「西区区ビジョン基本方針」は、令和4年度までの計画です。西区自治協議会では次期計画(令和5～12年度)の策定において、区民の意見を計画作りに反映するために取り組んでいます。

#### 次期区ビジョンワークショップに参加

12月23日、次期区ビジョン基本方針策定に向けたワークショップに参加しました。5つの班に分かれ、現在の西区区ビジョン基本方針を振り返り、今後の目指す区の姿の方向性について話し合いました。



#### 1 これまでの取り組みの振り返り

これまでの区の取り組みについて、良い点や悪い点を、事前に記入した付箋を持ち寄り、各班で発表。班ごとに情報を共有しました。

各班のテーマ

- I 人と人がつながり、安心・安全に暮らせるまち  
子育て支援、高齢者支援、防災、防犯、交通安全
- II 都市と農村が融合するまち  
農産物のPR、食育、生産者と消費者の交流
- III だれもが学び合える学術と文化のまち  
学びの場づくり、文化意識向上、スポーツ振興
- IV 豊かな自然と快適な住環境を大切にするまち  
環境保全、交通、自然を活用した観光
- V 地域と区役所が共に歩むまち  
協働、風通しのいい区役所



#### 2 今後の方向性を議論

未来の西区のありたい姿を想像しながら、方向性を議論。各班が担当する分野ごとに、意見をまとめました。



#### 3 発表

各班でまとめた5つのテーマの方向性について、参加者全員で意見を共有しました。

発表された意見

- ・今後も、ずっと選ばれる西区であるために、若者や高齢者が豊かに、優しく暮らせるようにすることが大切
- ・西区にある資源を組み合わせることがポイント。農業だけでなく、他産業とのバランスや連携を図ることはどうか
- ・学びや文化など、「一人一人のワクワクを真ん中に」を目指すように、認め合い、実現できる環境づくりが大切
- ・自然環境がよく住みやすい住環境や子育てサービスの充実など、若い人が就職して暮らしたいと思う仕組みが整う西区を目指してもらいたい
- ・まずは隣人から大切に、常に身近で共助を育む地域にすることで、まちに入る人が増え、地域の後継者が育まれるのではない

今回出し合った意見について、今後区役所で検討を行い、次期区ビジョン基本方針の素案を策定します。西区自治協議会では、次年度も引き続きより良い区政を目指し、意見を伝えていきます。

## 支え合い 勇気を出して 声かけて

### 標語で地域の支え合い広める

西区自治協議会第2部会では、昨年度「支え合いって何だろう」と考えてもらうために、支え合いの大切さを広める標語の募集を行いました。今年度は、自分から他の人の困りごとに気づき行動できる人を増やすために、標語を用いたポスター・チラシを作成し、掲示・配布することで啓発活動を行いました。



#### ○使用した標語

最優秀賞作品

「支え合い 勇気を出して 声かけて」

#### ○主なポスター・チラシ配布先

- ・小・中学校
- ・商業施設(スーパーマーケット、ほか)
- ・医療機関 ほか

近所の人へのあいさつやちょっとした声かけが「支え合い」につながります。身近なところから始めてみませんか。

ポスター・チラシは、西区地域課で配布しています。

☎西区地域課(☎025-264-7161)

## 1年間の振り返りと次年度への展望

西区自治協議会 会長 大谷 一男

自治協議会本会では、コロナ禍でも議論を活発に行うために、リモート出席を可能としました。各部会では、環境美化、支え合いの大切さを広める活動、区の魅力発信・賑わい創出事業などの地域課題解決に着手しました。

また、西区アートフェスティバルでは、新潟大学工学部による音楽とテクノロジーの融合「おん×てっく」を取り入れ、多くの方に来場いただきました。

環境美化では、ごみ拾いSNS「ピリカ」を試験的に導入し、「#西区をきれいに」をつけて投稿しました。ごみ拾いにSNSを取り入れることで、ごみ拾いを始めることへのハードルが下がり、ごみの見える化による区民の美化意識向上につながると実感しました。

4月以降の第8期2年目の活動は、西区の魅力発掘、地域防災に関する新規事業のほか、区ビジョンまちづくり計画の策定に、継続的に取り組んでまいります。



活動内容を地図や写真で分かりやすく表現。情報を共有できるほか、メッセージも送れるので、活動の励みになります。

ごみ拾いSNS「ピリカ」のスマートフォン画面





# 歴史を見つけにてくてく歩こう！ 西川ふれあいロードをブラ散歩



**西川の桜並木**  
周辺自治会が、平成4年から3年がかりで51本のサクラを植樹。1本1本の苗木にオーナー制を導入し完成した桜並木です。西川緑地愛護会が育樹・清掃活動を行っています。

大河津分水路から分岐し新潟市で再び信濃川に合流する、長さ44.5kmの西川。かつて信濃川の本流だった西川の両岸には、大小の潟が点在し、広大な低湿地が広がっていたため、戦国時代のころから、排水と洪水対策として瀬替えや排水路の建設が行われました。江戸時代には、新潟と長岡を結ぶ舟運が栄え、物資の輸送や交通路として重要な役割を果たしました。

今号では内野町から平島までの遊歩道「西川ふれあいロード」のうち、坂井から小針までの西川沿いの歴史について紹介します。春の暖かさを感じながら、歴史を巡ってみませんか。



## ①旧坂井輪村役場跡



唯一残存するコンクリートの書庫  
昭和29年に新潟市と合併するまで坂井輪村役場がありました。唯一残る遺構はコンクリートの倉庫のような建物。水害時に大切な書類を守るために、書庫として使われていました。



「坂井輪の歴史」碑  
昭和55年に建立された、坂井輪地域の400年の歴史が刻まれている碑。明治22年の市町村制に伴い新設された四村、上坂井輪村・下坂井輪村・新貝村・新通村の記載があります。

## ⑤瑞林寺の石碑



「九字十字御名號」碑(写真左)  
親鸞聖人が書かれた、阿弥陀如来の名乗り。明治11年、明治天皇巡幸の際、巡幸の方々に伝えるべく、青年会の人たちが建立したものといわれています。

「志士之霊」碑(写真右)  
戊辰戦争で、小針付近で亡くなった米沢藩士を悼み、昭和9年に小針の旧家・渡部家によって瑞林寺境内に、慰霊碑が建てられました。

## ②大曲の地蔵堂



村の入口にまつり、疫病の守り神として信仰したと伝えられる大曲のお地蔵さま。敷地には、明治29年の横田切れにより池ができ、その池の主である蛇をまつった大曲権現もあります。

## ③二重辻の地蔵尊



江戸時代、洪水のたびに農業に甚大な影響を受けていた地域の住民が、川切れが起きないようにまつたと伝えられています。昭和59年に流通団地造成による道路拡張工事のため、以前より少し東側に移設されました。

## ④明治天皇駐輦之蹟



明治11年8月から約2カ月かけて、1府11県の明治天皇巡幸の際に訪れたことを記念し、建立したもの。「輦」とは、天皇の乗り物を意味し、明治天皇がこの地で休息したことを示しています。

## とっておきの私一枚



タイトル 艶姿シデコブシ  
投稿者 どんぐりタヌポン さん

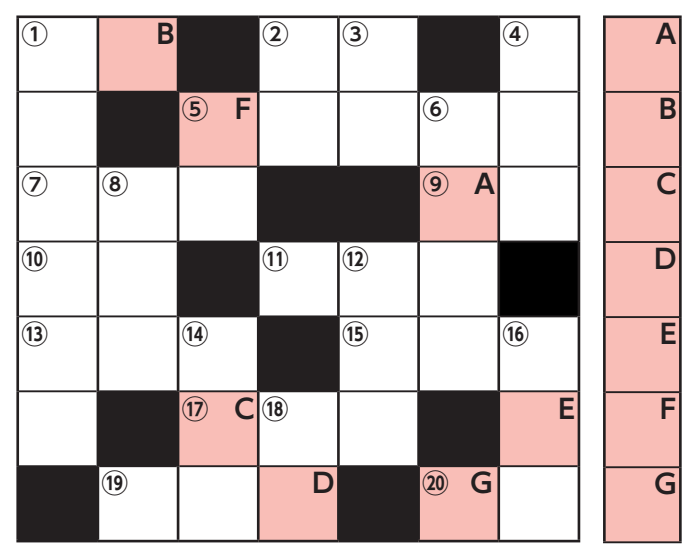
一言コメント  
我が家の庭で春一番に咲く花木です

募集  
しています

○とっておきの私一枚 ◆あなたの「自慢の写真」(家族・風景・イベント・ペット等)に住所・氏名(氏名必須、ペンネームがあればペンネーム掲載)・連絡先・写真タイトル・一言コメントを添えてご応募ください。(電子メール可)◆採用者には千円の図書カードを贈呈。◆応募写真は返却しません。◆締め切り3月30日(水)(9月4日号掲載予定)。◆送付先/ 広報紙表面の「事務局」あて

## 春が来たヨ！クロスワードパズル

- タテのカギ  
①大谷翔平選手のプレースタイル  
②えんま様に抜かれるもの  
③ほぐすと楽になる  
④エジプトは〇〇〇のたまもの  
⑤内野で立体交差するもの  
⑥おしん、ひよっこ、カムカムエヴリバディ  
⑧偶数と？  
⑫レルヒ少佐が日本に伝えたもの  
⑭村上市出身の〇〇〇歩夢・海祝選手  
⑯高橋留美子先生作品。〇〇〇1/2  
⑰小銭入れなどに使われる留め具。〇〇ぐち
- ヨコのカギ  
①大豆は「畑の〇〇」と呼ばれています  
②力士が踏むもの  
⑤夜、夢を持った仲間が集まってやること  
⑦海水浴に持っていこう  
⑨ヒツジとトリの間  
⑩しっぽの大きい森の動物  
⑪秋葉区は旧新津市と旧〇〇〇町  
⑬沈む西区の宝。西区カラー  
⑮赤塚にある公園。〇〇〇西公園  
⑰新潟の笑わない男は〇〇〇マン  
⑲「ドカベン」の明訓高校2番セカンド  
⑳いつやるの？



応募のきまり  
◆かんたん申込み(下の二次元コード)または、広報紙表面の「事務局」あてに郵送・電子メールでご応募ください。郵送・メールの場合は、クロスワードの答え、広報紙や自治協議会活動についてのご意見、住所・氏名・連絡先を明記。正解者の中から抽選で20人に図書カード千円分を贈呈。◆締め切り3月30日(水)◆当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。



## 編集後記

1面に掲載した区ビジョンワークショップに参加しました。私の参加したグループは、まちの活性化や農業に関することがテーマでした。区の取り組みに対し、皆さんがどんな意見を持っているのか、その一端を感じられました。発表者が意見を出すたびに、次から次へといろいろな意見が出され、長所や課題の付箋が広がっていきました。思いが重なるように。メンバーの農家の方からブランド維持のお話をじかに聞いたことは、良い経験でした。(杉原 英文)